

被爆 78 周年原水爆禁止世界大会 長崎大会参加報告

松本支部 野菜花き試験場分会 山口 昌彦

当分会について簡単に紹介します。試験場 39 名、中南信専技室 9 名および病害虫防除所中南信担当 4 名の組合員数 52 名。松本支部の中で 2 番目に組合員数が多い分会です。わたしは病害虫防除所に籍を置き、今年度分会長に就任しました。

さて、今年は広島、長崎に原水爆が投下され 78 年目。被爆者健康手帳* を持つ被爆者の平均年齢は 85.01 歳と高齢化が進んでいます。昨年、同大会参加を希望しましたが、新型コロナウイルスの感染者が増えてきたことから断念。今年度はコロナ禍以前のような対面開催となり参加させていただきました。

* 被爆者健康手帳 被爆者援護法に定める「被爆者」に交付される手帳。無料で診察、治療、投薬、入院等が受けられる。

この大会は国内では福島、広島、長崎で開催されています。日程、スケジュールは以下のとおりです。

開催日 8 / 7 (月) ~ 9 (水) 台風 6 号接近により 9 日は中止

日 程 8 / 7 午後 長崎大会開会総会、国際シンポジウム

8 / 8 午前 分科会 3 会場

① 平和と核廃絶 I 世界の核兵器廃絶にむけて

② 平和と核廃絶 II 日本の軍備拡大・改憲について

③ 脱原発 原子力推進政策と「核のゴミ」について

④ 見て・聞いて・学ぼう“ナガサキ”

長野県代表団は①、②、④に参加

午後 自由行動 被爆遺構巡り

参考

8 / 9 慰霊碑墓参、長崎大会閉会総会、非核平和行進 すべて中止

参加者 自治労本部（大鹿村出向）、飯島町職労、長野市職労、松本水労、国労、県職労、県労組会議の男 6 名、女 2 名 年代は 20~30 歳代 4 名、50 歳代以上 4 名

核廃絶へ向けた事前学習資料として「核も戦争もない 21 世紀へ（核問題入門）」が参加前に配布され、基礎的な内容を理解するのに役立ちました。

8 月 7 日 (月)

集合は羽田空港 10 時。松本から参加のわたしは前泊。長野からの参加者は当日、新幹線利用で集合時間に合うのは羨ましく感じました。速度の遅い台風 6 号が長崎県に接近していました。飛行機が飛ぶのか、帰って来ることができるのか不安でした。全日空 663 便 (B787) は羽田空港からほぼ予定どおり 10:55 分飛び立ちました。

13 時頃に長崎空港着。空港内で各自昼食。わたしが食事をしたレストランはテーブルに QR コードが掲載されたメニュースタンドが置かれていました。スマートフォンを持っていない人は、紙のメニュー表から選ぶことができます。また、S 社の配膳・運搬ロボットが、店内を動き回っています。

した。コロナ禍以降、人との接触回避、除菌作業の効率化が進み、こうした取り組みが増えていることを実感しました。

会場の長崎ブリックホール（長崎市内）までバスで約50分。運転手の運転が荒く（特にブレーキ）、参加者のひとりがバス酔いを起こし、会場到着時には顔面蒼白状態でした。

大会開会総会時に、事務局から台風6号接近に伴い3日目企画・行事等の開催中止が発表されました。この発表を聞くや否や長野県団長、事務局が直ちに帰路の交通手段を確保。この時の速やかな判断、対応は見事だったと後にわかることになりました。



長崎大会開会総会

8月8日（火）

午前・分科会

4分科会の内、3つの分科会に2名ずつにわかれて参加。わたしは第3分科会（「脱原発 原子力推進政策と「核のゴミ」」）に参加しました。基調講演と核の最終処分場の選定について、現地からの報告がありました。選定にかかわる調査で国から多額の交付金が交付されることで、北海道では2町村が調査を受入れ。これにより賛成・反対により、地域が分断されてしまったと報告がありました。



第3分科会

午後・市内被爆遺構巡り

各自自由行動。わたしは、平和記念公園、浦上天主堂、原爆資料館、原爆投下中心地を巡りました。ホテルで電車一日乗車券（600円）を購入。この券で路面電車の全線が1日乗り放題になります。モバイル一日乗車券もあるようです。通常料金は140円（均一制）なので5回乗車すればお得。わたしは3回しか乗車できませんでしたが、日付入りの記念乗車券になりました。

8月9日（水）

朝から雨が降ったりやんだり。準備不足のわたしでさえも、事前の台風情報を聞いて日傘をやめ雨傘を持参していました。しかし、参加者のひとりは無謀にも傘を持参していませんでした。ホテルから長崎駅までは近距離でしたが、駅前が工事中で迂回しなければなりません。ホテルを出た時、雨は止んでいましたが、突然の風雨で彼は濡れることになりました。路面電車は既に計画運休なのか、走っていませんでした。余談ですが、路面電車の運転手は右左折時には事前にアナウンスをし、丁寧な運転をしていました。前述のバス運転手とは大きな違いを感じました。復路は鉄道で長崎 8:44 - 博多 10:15 - 名古屋 14:00 - 松本 16:04 まで3回乗り換えての7時間20分。二度と経験できない列車の旅となりました。初めて乗ったJR九州西九州新幹線。短時間でしたが広い車内、明るさに感動しました。わたしたちが乗車した長崎駅発 8:44 の次の列車以降は、計画運休。復路の搭乗予定の飛行機も欠航になりました。長野県団長の速やかで的確な判断、どこかの為政者に学んで欲しいものです。

補足

8月7日(月)長崎大会開会総会 参加者 800人余

海外ゲストスピーチ ピースアクション*全国執行委員会副委員長

*会員数 20万人、全米最大の平和団体

原稿をスマートフォンに載せてあるらしく、それを見ながらスピーチする姿が印象的でした。

「被爆体験者」訴訟について

長崎の爆心地から半径 12km 以内であっても、旧行政区域外で原爆に遭った人たちを国が「被爆者」と区別して「被爆体験者」と法的に取り扱っています。(被爆者手帳を取得できず各種手当が支給されない)これに対して「被爆体験者」が 2007 年長崎地裁に国を提訴し、現在に至っています。わたしは初めて「被爆体験者」ということばを聞きました。皆さんが当事者ならば、このような線引きを納得できるでしょうか。



被爆地域図

高校生活動報告(高校生平和大使)

核実験が相次ぎ核拡散に危機感を感じた長崎市の団体が、1998年に高校生を国連へと派遣し、核兵器廃絶を訴えたことが発端です。毎年公募選出され今年で 26 年目になります。核兵器廃絶と平和な世界の実現をめざす署名活動、国連欧州本部訪問、アジアの子どもたちへの鉛筆贈呈、アジア子ども基金活動などを行っています。

大会では高校生平和大使(以下、大使 この大使はマモル君が笛を吹いても来てはくれません。)・一万人署名活動のメンバーによる活動報告、メッセージ動画「高校生平和アクション 2020」の上映がありました。歴代の大使も参加。高校卒業後も活動している大使もいるようです。残念ながら長野県では大使の取り組みがないようです。どうして取り組みがないのか疑問に感じたところです。

高校生一万人署名活動

長崎の高校生が核兵器廃絶を求める思いを国連へ届けるため、署名活動として 2001 年から始まった活動です。全国各地の街頭で、高校生が署名活動を行なっています。累計署名数は 200 万筆を超えています。



高校生平和大使

国際シンポジウム「放射能汚染水の海洋放出に反対する」参加者

300人余

4人のパネラーによる活動報告とディスカッション

アメリカ、マーシャル諸島共和国、韓国での海洋放出反対運動について紹介。国内メディアは中国、韓国での海洋放出反対活動を取り上げていますが、他の国の取り組みは取り上げていないことを知りました。

8/24日本は国内、諸外国の海洋放出反対の声を聞き入れず放出に踏み切りました。そして、中国税関当局は、日本を原産地とする水産物輸入を全面停止を発表。中国からの嫌がらせ電話が来るようになっていきます。

8月8日(火)第3分科会「脱原発 原子力推進政策と「核のゴミ」について」

放射能汚染水の海洋放出は当初から計画されていた。

最終処分場の選定は文献調査(2年程度)、概要調査(4年程度)、精密調

査（14年程度）の3段階を経て決まります。文献調査実施で国から最大20億円、概要調査に進むとさらに最大70億円が交付されます。

文献調査は、既に北海道の寿都（すつつ）町と神恵内（かもえない）村でそれぞれ2020年11月に開始。しかし、調査期間の2年程度を過ぎても結論は出ていません。分科会では基調講演と北海道寿都町、長崎県対馬市住民からの報告がありました。北海道では調査受入れ賛成・反対により、地域が分断されてしまったと報告がありました。8/16対馬市議会特別委は核ごみ最終処分場調査「賛成」請願を採択しました。

最後に、特に若い組合員の皆さんは、ぜひ原水禁世界大会に参加して自分の五感で感じてください。長野市松代町には松代大本営地下壕があります。わたしは長野市出身ですが小中学校の頃、このことについて詳しく学んだ記憶がありません。中学校の修学旅行は広島で、事前学習をして行った記憶はありません。

高校生平和大使のことば「ビリョクだけど ムリョクじゃない！」被爆者、被爆体験者の生の声を聴き、次世代に語り継ぐのはわたしたちの責務だと思います。生の声を聴く期限は迫っています。ひとり、ひとり今、自分ができることを考え実行して欲しいと思います。

いろいろなことで一度方針が決まると、状況が変化しても軌道修正することが多いように感じます。「前向きに検討します。」検討しても、民衆の意見は反映されない。このままでよいのでしょうか。人ごとと思わず、自分ごととして考え、行動して欲しいと思います。ひとりの力は「ビリョクだけど ムリョクじゃない！」をわたしは信じています。



復路は鉄路



参加者